



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年8月2日

上場会社名 東京応化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4186 URL <http://www.tok.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 阿久津 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 村上 裕一

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,403	9.0	2,104	87.7	2,318	104.6	1,307	122.2
23年3月期第1四半期	17,805	18.5	1,121	—	1,133	—	588	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,650百万円 (392.3%) 23年3月期第1四半期 335百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	29.06	—
23年3月期第1四半期	13.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	145,343	119,408	81.0
23年3月期	147,085	118,567	79.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 117,678百万円 23年3月期 116,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,300	10.2	2,800	△2.1	3,000	5.8	1,800	12.7	39.99
通期	82,000	2.6	6,400	5.9	7,000	5.4	4,200	15.1	93.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	46,600,000 株	23年3月期	46,600,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,595,355 株	23年3月期	1,595,228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	45,004,704 株	23年3月期1Q	45,005,977 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災後、サプライチェーンの寸断による生産や輸出の大幅な減少ならびに節電の広がりなどから急速に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧とともに次第に回復しつつあります。しかしながら、電力の供給不安や円高傾向が続いていることなどにより、先行き不透明な状況となっております。

このような情勢の下、当企業集団は、高付加価値製品の拡販に引き続き努めるとともに、コスト削減に取り組んでまいりました。材料事業では、印刷材料事業の譲渡による減収があったものの、半導体用フォトレジストが好調に推移し、前年同期とほぼ同水準の売上を維持することができました。また、装置事業は、大型ガラス基板対応装置の検収が進み、前年同期に比べ大幅に売上を伸ばすことができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は194億3百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は21億4百万円(同87.7%増)、経常利益は23億18百万円(同2.0倍)、四半期純利益は13億7百万円(同2.2倍)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①材料事業

エレクトロニクス機能材料部門は、液晶ディスプレイ用フォトレジストは、液晶テレビ需要の低迷等により売上は減少いたしました。半導体用フォトレジストでは、スマートフォン向けを中心とした半導体需要の堅調な推移からエキシマレーザー用フォトレジストが好調に推移し、当部門の売上高は115億55百万円(同8.1%増)となりました。

高純度化学薬品部門におきましては、アジア地域は旺盛な需要に支えられ増加いたしました。震災の影響から国内向け出荷が減少したほか、北米地域における製品価格の下落の影響を受け、当部門の売上高は57億30百万円(同5.0%減)となりました。

この結果、材料事業の売上高は174億51百万円(同0.8%減)、営業利益は29億81百万円(同5.8%増)となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	17,595	17,451	△144	△0.8%
営業利益	2,817	2,981	163	5.8%

②装置事業

液晶パネル製造装置は、液晶パネルメーカーの設備投資抑制により受注は前年同期を下回りましたが、大型ガラス基板対応装置を中心として検収が進み、売上は前年同期を大きく上回りました。

この結果、装置事業の売上高は19億74百万円(同8.8倍)、営業損失は前年同期比7億80百万円改善したものの1億69百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	225	1,974	1,749	8.8倍
営業損失(△)	△950	△169	780	—

なお、セグメント間の取引につきましては、相殺消去しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,453億43百万円で、前連結会計年度末に比べ17億42百万円減少いたしました。

流動資産は10億57百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金が4億21百万円増加したものの、流動資産のその他が9億50百万円、たな卸資産が3億19百万円、現金及び預金が1億98百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定資産につきましては6億85百万円減少いたしました。これは減価償却の進行により有形固定資産が6億19百万円、無形固定資産が32百万円、長期前払費用の減少等により投資その他の資産のその他が40百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債合計は、259億34百万円で、前連結会計年度末に比べ25億82百万円減少いたしました。これは前受金の減少等により流動負債のその他が12億44百万円、賞与引当金が8億1百万円、支払手形及び買掛金が5億5百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産合計は、1,194億8百万円で、前連結会計年度末に比べ8億40百万円増加いたしました。これは配当金の支払8億10百万円があったものの、四半期純利益13億7百万円の確保や、その他包括利益累計額の増加2億70百万円があったことが主な要因であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は81.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想値から見直しは行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,024	47,825
受取手形及び売掛金	21,309	21,731
商品及び製品	13,760	13,672
仕掛品	3,191	2,947
原材料及び貯蔵品	3,305	3,317
その他	4,306	3,355
貸倒引当金	△97	△108
流動資産合計	93,799	92,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,634	15,417
その他(純額)	14,781	14,379
有形固定資産合計	30,415	29,796
無形固定資産	257	225
投資その他の資産		
長期預金	14,000	14,000
その他	9,226	9,186
貸倒引当金	△614	△607
投資その他の資産合計	22,612	22,578
固定資産合計	53,285	52,600
資産合計	147,085	145,343

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,415	7,910
未払法人税等	442	363
賞与引当金	1,504	703
その他	16,049	14,805
流動負債合計	26,412	23,782
固定負債		
退職給付引当金	1,211	1,222
その他	894	930
固定負債合計	2,105	2,152
負債合計	28,517	25,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207
利益剰余金	91,933	92,431
自己株式	△2,929	△2,929
株主資本合計	118,852	119,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	953	988
為替換算調整勘定	△2,896	△2,660
その他の包括利益累計額合計	△1,942	△1,672
少数株主持分	1,657	1,729
純資産合計	118,567	119,408
負債純資産合計	147,085	145,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	17,805	19,403
売上原価	12,190	12,925
売上総利益	5,614	6,478
販売費及び一般管理費	4,493	4,373
営業利益	1,121	2,104
営業外収益		
受取利息	23	21
受取配当金	68	61
持分法による投資利益	14	51
その他	75	107
営業外収益合計	181	242
営業外費用		
為替差損	96	21
支払補償費	39	—
その他	34	7
営業外費用合計	169	29
経常利益	1,133	2,318
特別利益		
固定資産売却益	6	2
貸倒引当金戻入額	69	—
その他	0	—
特別利益合計	77	2
特別損失		
固定資産除却損	30	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
その他	125	4
特別損失合計	230	22
税金等調整前四半期純利益	980	2,298
法人税、住民税及び事業税	199	167
過年度法人税等	△114	—
法人税等調整額	274	779
法人税等合計	360	946
少数株主損益調整前四半期純利益	620	1,352
少数株主利益	31	44
四半期純利益	588	1,307

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	620	1,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△457	34
為替換算調整勘定	181	258
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	5
その他の包括利益合計	△284	298
四半期包括利益	335	1,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262	1,578
少数株主に係る四半期包括利益	73	72

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,595	209	17,805	—	17,805
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	16	16	△16	—
計	17,595	225	17,821	△16	17,805
セグメント利益または 損失(△)	2,817	△950	1,866	△745	1,121

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△745百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△745百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,451	1,952	19,403	—	19,403
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	22	22	△22	—
計	17,451	1,974	19,426	△22	19,403
セグメント利益または 損失(△)	2,981	△169	2,811	△706	2,104

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△706百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△706百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。